



Obihiro Rotary Club

District 2500 Rotary International

No. 2875

第3193回例会

平成22年2月10日

2009-10年度 国際ロータリーのテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS
(ロータリーの未来はあなたの手の中に)

方針

修練

会長 清水 茂彰

■プログラム

佐藤 幸宏 米山記念奨学委員会委員長

「卓話」

RI第2500地区米山記念奨学生

ラハガワドルジ・ニャムスレン 様



私はモンゴルのウランバートル市のオルホン大学から来たラハガワドルジ ニャムスレンと申します。現在、大谷短期大学の総合文化学科2年生で、「日本のお祭り」を卒業論文のテーマにし、研究しています。今年米山ロータリーの奨学生に推薦され、ホームステイ、毎月の例会、旭川での研修会など勉強とともに充実した、とても楽しい有意義な一年間でした。さらに、普段の生活の中で経験できないことを身をもってたくさん味わいました。

米山ロータリーの奨学金をいただいたことにより、時間の余裕ができたり、おいしい料理をいただいたり、いろいろな場所も見学できたり、日本のことを学ぶ大きな機会を与えてくれました。ホームステイで初めて海を渡って、礼文まで旅行し、今まで体験できないことを体験でき、一番印象に残った喜ばしいことでした。また、他の留学生と交流ができて、国々の違いを感じ、いろいろな面で知識が広がってきたかなと思います。

毎月の例会に参加したことで、ロータリーの方々、他の周りの人たちにいつも支えられていることをよく理解し、その人たちの期待に応える、他人の太助になれる人になりたいという気持ちが強くなりました。奨学金をいただいた上に、カウンセラーさんもいて、いろいろと面倒を見てくださり、たくさんのお話を聞き、学ぶ機会を与えてくれる米山ロータリー奨学生になったことは大変ありがたいことでした。

世界で優れた先進国の一つである日本で学び、日

本の文化、日本人の性格・考え方をみて、礼儀正しく、昔からの文化をよく保つことができている、素晴らしい国です。この間、勉強になったことが沢山ありました。私は今大変幸せです。

将来、日本で学んだことを生かして、日本と母国との交流が深まることに役に立ちたいと考えています。そのために、これからも頑張っていきたいと思っています。日本での留学生生活を応援してくださった皆様に心から感謝しております。今まで、本当にありがとうございました。

～本人の書いた小論文より～

Монгол Улсын Хувьсгал

【ラハガワドルジ ニャムスレン】

私が日本を留学先に選んだ理由は2つある。

私は小さいときから、テレビで日本のアニメやニュース、映画など、日本のいろいろなことについて見てきた。そして、着物、和室、挨拶の仕方、日常で使っている物、和食などの日本の独特の習慣への興味とあこがれから、日本へ行ってみたいという気持ちを強く持っていた。それが第一の理由である。

さらに、日本は交通や電気技術をはじめ、さまざまな分野で優れていてよく整備された先進国なので、実際に見て、聞いて、学び、その知識や経験を母国で生かしたいとの思いが日本に入学することにした第二の理由である。このように考えて、現実日本に生活しながら、日本語の力を上達させたかったので、日本への留学を決心した。私は、日本が個性的な文化を持っているところに以前から魅力を感じていたため、現在、その環境で留学しているということは、私の大きな夢の一步を叶えたことになるが、これからもこのチャンスを逃さないように頑張りたい。

私は留学を終えた後、モンゴルに帰国し、日本で学んだことを両国のために役立てたいと思っている。

最近、モンゴルと日本との交流がいろいろな分野で徐々に深まりつつあり、文化、人材、経済に係る交流プロジェクトが計画されている。だが、どのプロジェクトにおいても、スムーズに物事を進めるためには、両国の事情をよく知る人が必要である。私は通訳者として何かのプロジェクトの仕事に就きたいと思っている。その他、日本のことをモンゴルの人々に紹介したり、自分の経験、知識でいろいろなことをやるつもりでいる。世界の国の人々が、他の国の文化や習慣を知り、距離が離れていても、お互いに理解し合い、近づくのは素晴らしいことだと思う。私の国も日本にもっと近づいてほしいし、発展してほしい。そのために、私もできる限りの努力をして役に立ちたいと思っている。

■会長報告

清水 茂彰 会長



皆さん今日は。「世界理解月間」が続いていますがその一環として、半山記念奨学生 のニャムスレンさんのお話しを聞く訳ですので暖かく見守っていただければと思っています。

外国人留学生の支援活動は、これまでに15,130人以上にのぼり日本の民間学財団では最大規模であります。世界に7つのロータリーセンターがありますが、日本、オーストラリア、イングランド、アルゼンチン、アメリカ(2ヶ所)、タイの7つであります。

日本では、国際基督教大学にあり、世界を枠として、競争によって選ばれた60人がこの7つのセンターで国際問題の研究をしています。

■会務報告

渡辺 喜代美 幹事

- (1)帯広西RC、2月11日(木)は祝日のため休会と致します。
- (2)帯広北RC、夜間例会開催のご案内(RAC合同例会)
日 時 平成22年2月12日(金) 午後6時30分
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
- (3)帯広RC、2010-11年度第1回クラブ協議会開催のご案内
日 時 平成22年2月17日(水) 午後6時
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
- (4)帯広5RC・音更RC・芽室RC合同例会開催のご案内
日 時 平成22年2月19日(金) 午後6時
食 事 12:00~12:30
例 会 12:30~12:40(セレモニー)

講 演 12:41~13:25

例会終了 13:30

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

講 師 クイン明美様(「飛んでは!車いす」の会事務局長)

テーマ 「国際ボランティア活動について」(仮称)

*当日は駐車場の混雑が予想されますので、なるべく乗り合いでお越し下さいますようお願い致します。

*尚、帯広RCは2月17日(水)の繰下例会と致します。

帯広東RCは2月16日(火)の繰下例会と致します。

帯広西RCは2月18日(木)の繰下例会と致します。

帯広南RCは2月22日(月)の繰下例会と致します。

(5)帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内(創立記念例会)

日 時 平成22年2月25日(木) 午後6時30分

場 所 シャレード

(6)帯広北RC、夜間移動例会開催のご案内(創立記念例会)

日 時 平成22年2月26日(金) 午後6時30分

場 所 ジグザグ

(7)帯広RC、創立75周年記念例会(夜間例会)開催のご案内

日 時 平成22年3月10日(水) 午後6時

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

■委員会報告

・次年度委員会名簿の発表 後藤 裕弘 会長エレクト
2010-11年度 理事・役員・委員会名簿の配布

・出席報告 中森 保 副委員長

2月10日例会 会員総数96名

(出席免除会員10名) 出席51名

1月27日例会 メーキャップを含む出席数及び

出席率69名79.3%

1月の平均出席率は82.2%

・ニコニコ献金 河合 博 親睦活動委員

園尾 眞一 会員

来週からグリーンジャンボ宝くじの販売がはじまります。また幸運の女神を連れて参りますのでご協力をお願いします。

佐藤 幸宏 米山記念奨学委員会委員長

本日の例会、ラハガワドルジさんを迎えて担当させていただきます。今年度の米山寄付額は目標に対してまだ35%ほどしか達成されていません。会員の皆様からのご寄付をお待ちしております。よろしくお願ひ致します。

■次週プログラム予定

2月19日「帯広5RC・音更RC・芽室RC合同例会」

(世界社会奉仕委員会)

*2月17日の繰下げ例会です。



↑携帯サイトが
できました。
バーコードリー
ダーで読み込む
事ができます。



例会日/水曜日 12:30~13:30 例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820 ●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ広報 ●委員長/佐藤 真康・倉野 賢・島田 哲男・進藤 敦史・園尾 眞一

竹川 博之・梅安 雅満・蔦井 秀則・中島 一晃・新田 潔

●ホームページアドレス/http://www.obihiro-rc.co.jp